



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場取引所 名

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社

コード番号 3232 URL <http://holdings.sanco.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡本 直之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事グループ統括 (氏名) 中野 達郎

TEL 059-213-0351

四半期報告書提出予定日 平成23年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	73,831	△4.1	2,613	△20.5	1,939	△20.8	1,212	△33.2
22年3月期第3四半期	76,971	5.1	3,287	—	2,449	—	1,814	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	13.77	—
22年3月期第3四半期	20.60	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	155,584	19,880	12.5	220.32
22年3月期	160,855	19,137	11.6	212.00

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 19,397百万円 22年3月期 18,666百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	△2.9	3,200	△12.4	2,000	△20.5	1,000	△45.7	11.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 107,301,583株 22年3月期 107,301,583株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 19,257,139株 22年3月期 19,250,930株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 88,048,404株 22年3月期3Q 88,054,005株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、アジア経済を中心とした外需や政府の景気対策の効果等により一部の企業で業績の回復が見られたものの、依然として厳しい雇用環境や個人所得の伸び悩みから個人消費は低調なままで、さらに円高や株式市場の低迷により景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループにおいては、石油製品販売業では、原油価格の上昇に伴う販売単価の上昇によって、また、レジャー・サービス業のドライブイン部門では、奈良県で開催された「平城遷都1300年祭」による立寄りバス台数の増加によって、それぞれ増収となりました。一方、運輸業の貸切バス部門では、需給バランスを考慮した保有車両数削減による受注の減少によって、また、不動産業の分譲部門では、首都圏におけるマンション供給総量の減少によって、それぞれ減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は73,831百万円（前年同期比3,139百万円、4.1%減）、営業利益は2,613百万円（前年同期比673百万円、20.5%減）、経常利益は1,939百万円（前年同期比509百万円、20.8%減）、四半期純利益は1,212百万円（前年同期比601百万円、33.2%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産はたな卸資産の減少等により155,584百万円（前期末比5,271百万円減）となりました。また、負債は支払手形及び買掛金の減少等により135,703百万円（前期末比6,014百万円減）となりました。一方、純資産は利益剰余金の増加等により19,880百万円（前期末比743百万円増）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内経済の先行きは不透明な状況が続いておりますが、当第3四半期連結累計期間の業績はほぼ予想通りに推移しており、通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成22年4月30日に開示した内容を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算方法で計上する方法によっております。

#### ④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

#### 税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額につきましては法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は3,569千円、経常利益は4,745千円、税金等調整前四半期純利益は25,886千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、65,775千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,945,761	5,368,581
受取手形及び売掛金	4,971,504	4,882,175
商品及び製品	1,308,722	1,207,418
販売用不動産	47,897,395	50,759,737
仕掛品	881,352	358,351
原材料及び貯蔵品	232,821	227,559
その他	3,329,461	2,969,758
貸倒引当金	△42,967	△38,897
流動資産合計	63,524,052	65,734,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,791,053	30,588,086
土地	41,211,978	41,169,768
その他（純額）	6,152,483	5,939,847
有形固定資産合計	77,155,515	77,697,703
無形固定資産		
のれん	23,097	36,942
その他	520,480	419,229
無形固定資産合計	543,577	456,171
投資その他の資産		
その他	14,441,023	17,074,856
貸倒引当金	△79,775	△107,448
投資その他の資産合計	14,361,247	16,967,408
固定資産合計	92,060,340	95,121,282
資産合計	155,584,392	160,855,968
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,371,967	6,889,388
短期借入金	31,345,000	26,449,000
1年内返済予定の長期借入金	14,340,787	19,647,967
未払法人税等	318,066	638,066
引当金	1,237,122	1,842,845
その他	10,311,577	9,786,554
流動負債合計	60,924,521	65,253,822
固定負債		
長期借入金	50,221,357	49,320,164
引当金	1,608,102	1,532,736
資産除去債務	67,074	—
負ののれん	233,119	353,242
長期預り保証金	16,635,184	17,304,941
その他	6,014,557	7,953,975
固定負債合計	74,779,396	76,465,058
負債合計	135,703,917	141,718,880

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	8,216,911	8,216,911
利益剰余金	7,598,685	6,653,381
自己株式	△2,467,704	△2,466,317
株主資本合計	16,347,892	15,403,974
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,114,578	2,313,988
繰延ヘッジ損益	△75,315	△61,766
土地再評価差額金	1,010,688	1,010,313
評価・換算差額等合計	3,049,951	3,262,536
少数株主持分	482,631	470,576
純資産合計	19,880,474	19,137,087
負債純資産合計	155,584,392	160,855,968

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収益	76,971,291	73,831,829
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	58,841,154	56,901,870
販売費及び一般管理費	14,842,531	14,316,027
営業費用合計	73,683,686	71,217,898
営業利益	3,287,604	2,613,930
営業外収益		
受取配当金	164,094	172,019
負ののれん償却額	105,481	106,277
その他	142,743	188,988
営業外収益合計	412,318	467,284
営業外費用		
支払利息	1,204,055	1,094,671
その他	46,563	46,640
営業外費用合計	1,250,619	1,141,312
経常利益	2,449,304	1,939,902
特別利益		
前期損益修正益	—	49,258
固定資産売却益	344,845	—
収用補償金	575,896	—
受取補償金	—	25,000
その他	128,115	27,807
特別利益合計	1,048,856	102,065
特別損失		
固定資産処分損	164,378	198,372
減損損失	167,843	—
その他	70,864	79,017
特別損失合計	403,085	277,389
税金等調整前四半期純利益	3,095,075	1,764,577
法人税等	1,252,428	535,550
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,229,027
少数株主利益	28,465	16,674
四半期純利益	1,814,181	1,212,353



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）  
該当事項はありません。